

分野	主要な道路の整備			事業番号	38	事業名	道路改築(国道・小規模改築)										
市町村名	須坂市	ふりがな箇所名	(国)406号	むらいしまち 村石町		事業年度 (完了年度は見込み)	年度～		年度								
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)		財源内訳(千円)										
		道路築造工 L=1,350m、W=6.5(12.0)m			950,000	570,000	国庫		その他	県債							
	H25年度								342,000	38,000							
評価箇所	区分	評価項目・指標等		評価				ランク	評点								
	必要性 (30)	計画交通量		<input type="checkbox"/> 10,000台/日以上	■ 1,500台以上~10,000台/日未満	<input type="checkbox"/> 1,500台未満	B	2									
		代替道路		<input type="checkbox"/> 唯一の道路である	■ 代替となる道路がある	<input type="checkbox"/>		0									
		ネットワーク (道路網)		<input checked="" type="checkbox"/> 駅やインターチェンジが20km以内にある	<input type="checkbox"/> 駅やインターチェンジが20km以上にある	<input type="checkbox"/> 駅やインターチェンジに通じる路線でない		5									
		通行不能区間、冬期通行規制の解消又は市街地の活性化に資する路線である		<input type="checkbox"/>	■ 山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセスに寄与する	<input type="checkbox"/> 山間地域へのアクセス、市街地の活性化に寄与しない		5									
		観光地に通じる道路		<input type="checkbox"/> 観光地に通じる道路ではない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		3									
		各事業特有の必要性(安全の確保)		<input checked="" type="checkbox"/> 5.5m未満又は60m未満又は6%以上(幅員、半径、勾配)	<input type="checkbox"/> 5.5m以上6.5m未満(幅員)	<input type="checkbox"/> 6.5m以上(幅員)		4									
		自動車と自転車・歩行者との分離を図る		<input type="checkbox"/>	■ 歩道はあるが不十分であるものを再整備	<input type="checkbox"/> 自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない		2									
		小計						21									
	重要性 (15)	関連計画との整合		<input type="checkbox"/> 県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(2個以上)	■ 県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(1個)	<input type="checkbox"/> 該当なし	B	4									
		設計上の環境・景観配慮		<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮がされ確実性が高い	■ 環境・景観配慮がされているが確実性が低い	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮をしていない		2									
		地域の法的な位置付け		<input type="checkbox"/> 緊急輸送路(1次)に位置付けられている	■ 緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地震防災対策強化地域、観光整備実施計画認定地域に位置付けられている	<input type="checkbox"/> 特別な位置づけはない		3									
		小計						9									
効率性 (15)	費用対効果	費用対効果		■ B/C(3便益)1.0以上	B/C(3便益)1.0未満(3便益以外の観点から一定の効果が得られる)	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満	B	3									
		事業効果の早期発現 (H25以降残事業年数)		<input type="checkbox"/> 事業年数 5年未満	■ 事業年数 5年~10年未満	<input type="checkbox"/> 事業年数 10年以上		3									
		コスト縮減		<input type="checkbox"/> 全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している	■ 部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している	<input type="checkbox"/> コスト縮減はしていない		5									
	小計							11									
	緊急性 (20)	安全性の向上		■ 交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険がない	A	6									
		各事業特有の緊急性(渋滞対策・環境保全) (医療・福祉・教育)		<input type="checkbox"/> 渋滞箇所又は騒音・振動箇所が緩和する	■ 渋滞箇所又は騒音・振動箇所ではないが、朝夕の局部的現象を緩和する	<input type="checkbox"/> 渋滞対策又は騒音・振動対策ではない		5									
		小計						7									
		小計						18									
計画熟度 (20)	地域からの要望	<input type="checkbox"/> 地域住民の内発的な要望が強い		■ 市町村からの要望	<input type="checkbox"/> 特に要望がない	<input type="checkbox"/>	B	5									
	事業情報の共有	<input type="checkbox"/> 関係者以外に広く周知		■ 関係者中心に周知	<input type="checkbox"/> 特に周知していない	<input type="checkbox"/>		5									
	住民参加の状況	<input type="checkbox"/> 住民が計画策定に直接参加		■ 住民や市町村の意見を計画策定に反映	<input type="checkbox"/> 特に住民意見は反映していない	<input type="checkbox"/>		4									
	小計							14									
費用対効果(B/C)		7.6		評価の合計				B	73								
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(国)406号の当該箇所は、須坂市街地から上田市、菅平高原、峰の原高原を結ぶ広域幹線道路である。大型車の交通量が多く、人家連担地区であり、歩道が狭く、歩行者が危険にさらされている。また、都市計画道路の見直しにおいて、廃止が予定される、高甫線の機能代替え道路として恒久的な対策が求められている。															
	地域からの要望経緯	市街地へのアクセス道路として、また通学路として地元より強く整備を求められている。															
	事業説明等の経緯	H23.9.5地元役員説明会 H23.11.9 H23.12.28 H23.1.9 H24.2.16 須坂市および地元役員との意見交換															
	環境・景観への配慮項目	市街地景観を配慮することで、市や沿線地権者等との協議を進めていくこととしている。															
	他事業・プロジェクトとの関連	高尾線見直しに伴う機能強化、あんしん歩行エリア															
	特記事項	須坂市の都市計画道路の見直し路線となっている。															
	地域の合意形成	<input type="checkbox"/> 全員賛成	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね賛成	<input type="checkbox"/> 過半数賛成	<input type="checkbox"/> 動向不明												
部意見		事業の緊急性は高いが地元のルート定着が図られていないため、事業化を見送りたい。				行政改革課意見	緊急性は認められる。										